

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月27日

評価対象事業		評価者	学校施設課長	下澤 敦
教育-17	実施事業	中学校施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 学校施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 教育総務課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	中学校の施設・設備の機能を維持するため。
効果	生徒の安全・安心な教育環境を整える。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・中学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検や修繕を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
	3,416人	3,350人	3,317人				
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	62,025	56,186	当初予算(千円)	63,158		
	国県支出金	1,932		国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	303	332	その他	280		
	一般財源	59,790	55,854	一般財源	62,878		
	人員配置数	1.0	0.7	人員配置数	0.7		
事業経費運営	人件費(千円)	7,549	5,411	人件費(千円)	5,457		
	総事業費(千円)	69,574	61,597	総事業費(千円)	68,615		
	市民1人当りの経費(円)	394	349	市民1人当りの経費(円)	389		
	対象者1人当りの経費(円)	20,367	18,387	対象者1人当りの経費(円)	20,686		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	老朽化が進む施設や機能を維持管理していく上で、予算規模を縮小することは困難である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	老朽化が進む学校施設及び設備については、限られた予算の範囲で、劣化が著しい箇所から順次修繕を実施し、維持保全と延命化に努め、学校教育環境の適正な維持管理及び向上を図っている。
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	老朽化が進む学校施設及び設備については、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全と延命化に努める。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	学校施設や設備の修繕に当たっては、限られた予算の範囲で効果的に執行するため、緊急性等の視点から優先順位を付けて随時実施した。また、生徒の安全に関するものについては、優先的に実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化の進む学校施設及び設備については、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全と延命化に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由								
	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--